

令和7年度(2025年度) 第2回熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策協議会

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)の進捗と今後の対応について

令和7年(2025年)11月20日

地球温暖化対策の推進に関する法律

- ・ 法第21条に基づく温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置に関する計画

本議題の対象

地方公共団体 実行計画

区域施策編

熊本連携中枢都市圏
地球温暖化対策実行計画

住民・事業者・行政を含めた区域内での
温室効果ガス排出量削減を目的とした計画
※熊本連携中枢都市圏（当時18市町村） 共同で策定

事務事業編

各市町村で策定
※全市町村で策定済

地方公共団体の事務及び事業に伴う
温室効果ガス排出量削減を目的とした計画

1 「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」 の概要

1. 計画の概要

経緯

- ・ 令和2年（2020年）「**2050年温室効果ガス排出実質ゼロ**」を目指すことを共同宣言
- ・ 令和3年（2021年）「**熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画**」を共同策定

目的

- ・ 住民、事業者、行政が一体となって**地域の温室効果ガス排出量の削減**に取り組む。
- ・ エネルギーの地産地消など**持続可能な「地域循環共生圏」の実現**を目指す。

期間

令和3年度（2021年度）
～令和7年度（2025年度）

対象

熊本連携中枢都市圏の行政区域全体
（令和3年3月時点の18市町村）



1. 計画の概要

基本方針

1. 再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応
2. 省エネルギーの推進とエネルギーの効率的な利用
3. 脱炭素に向けた都市機能と資源循環社会の構築
4. 豊かな自然環境の保全と住民の生活の質の向上
5. 環境意識の向上と環境投資の推進

目標

温室効果ガスの削減目標

基準年度(2013年度)

997.0万t-CO₂

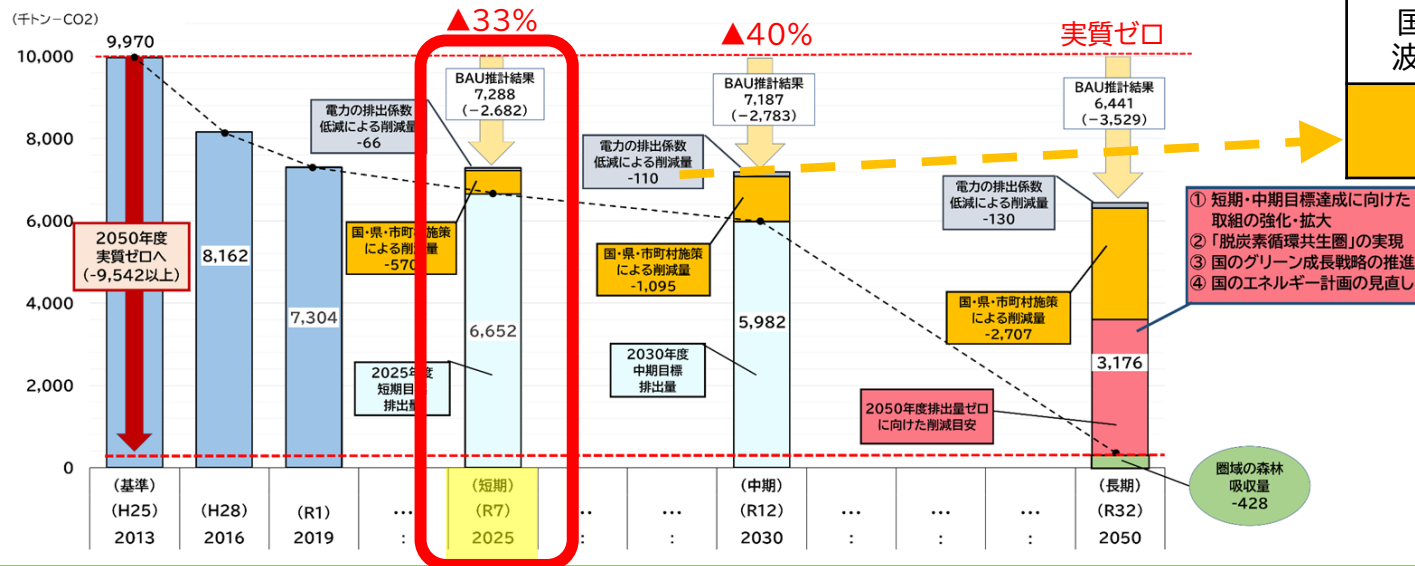
①短期目標(2025年度):33%以上削減 665.2万t-CO₂

②中期目標(2030年度):40%以上削減 598.2万t-CO₂

③長期目標(2050年度):排出量実質ゼロ 42.8万t-CO₂

◆2025年度目標の削減の考え方

内訳	温室効果ガス削減量 (万t-CO ₂)
18市町村の施策による削減	12.8
国・県の施策の波及による削減	44.2
合計	57.0

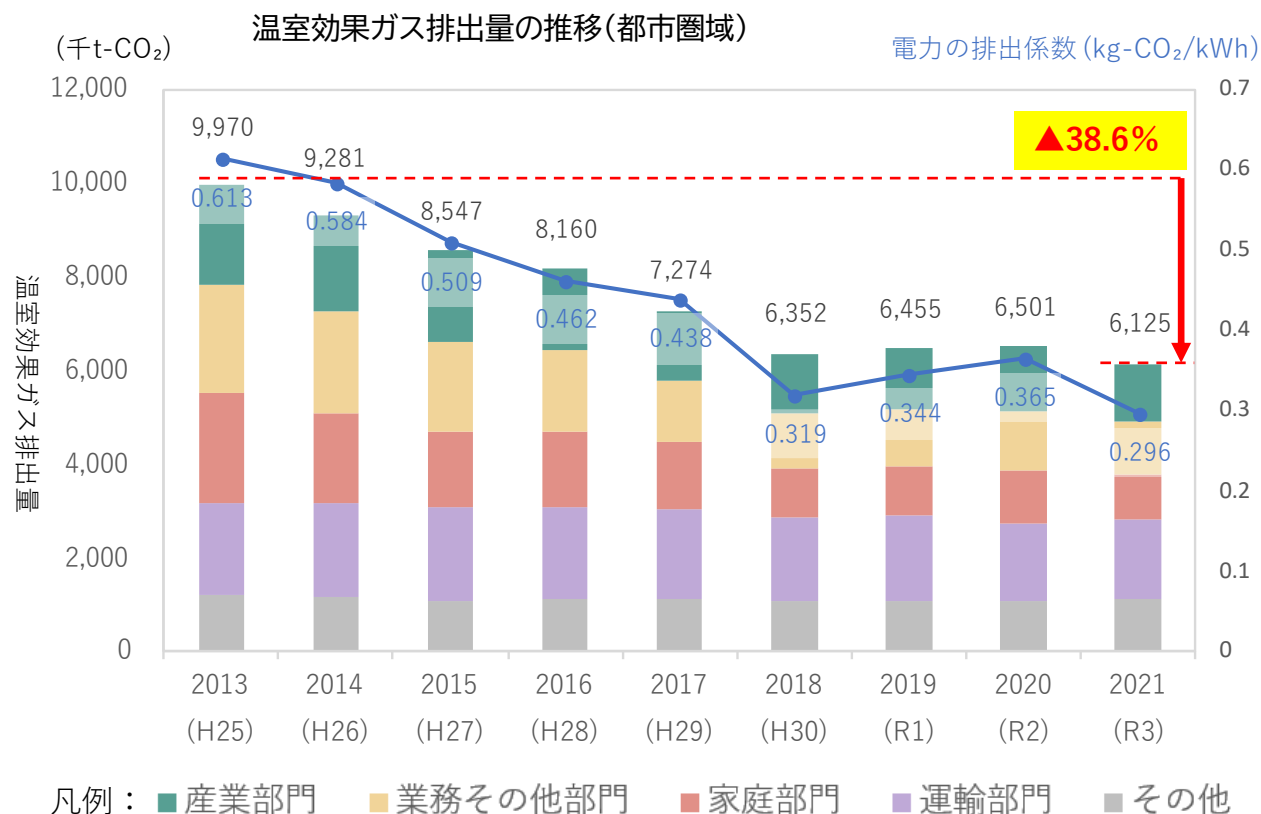


2 温室効果ガスの排出状況について (令和3年度(2021年度)実績)

※区域内の排出源の特徴を把握するため、温室効果ガスを相当量以上排出する特定排出事業者の排出量データを活用している。そのため、都市圏の温室効果ガス排出量を算定できる最新の年度は令和3年度(2021年度)である。

2. 計画の進捗（温室効果ガスの排出状況）

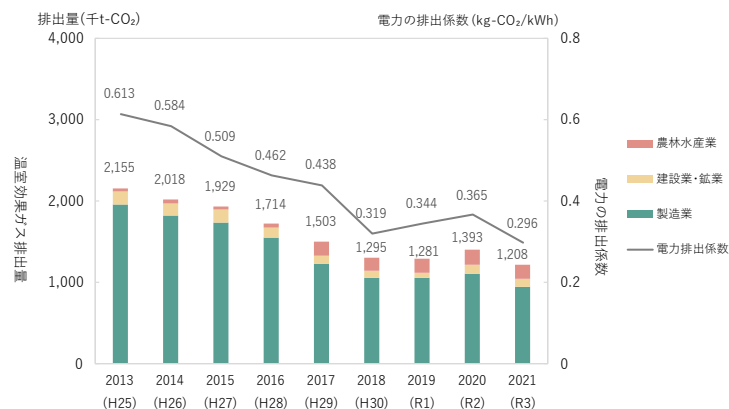
- 都市圏域における令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量は、約612.5万トン（CO₂換算）
 - 基準年度比で ▲38.6% であり、過去最低値を記録
 - 短期目標（令和7年度（2025年度）までに基準年度比33%以上削減）も達成する水準に達している
 - 平成30年度（2018年度）以降は横ばいであるものの、基準年度（2013年度）からの推移を見ると、排出量は減少傾向にある
- 再エネ設備の普及、省エネの進展、電力排出係数※の低減等により減少したと考えられる



※電力排出係数：電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素を排出したかを計る指標

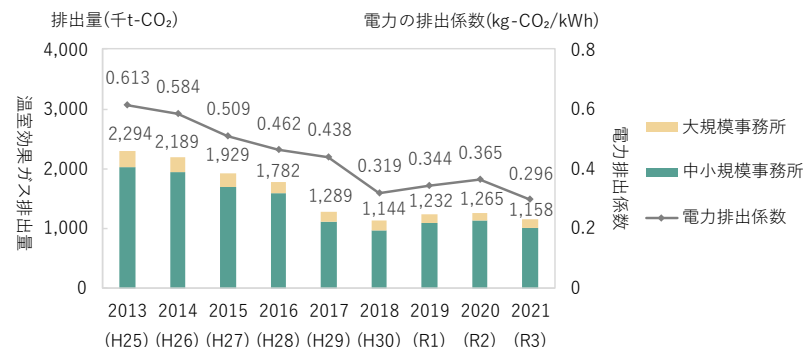
2. 計画の進捗（温室効果ガスの排出状況（部門別））

○ 産業部門（製造業・農林水産業・建設業等）



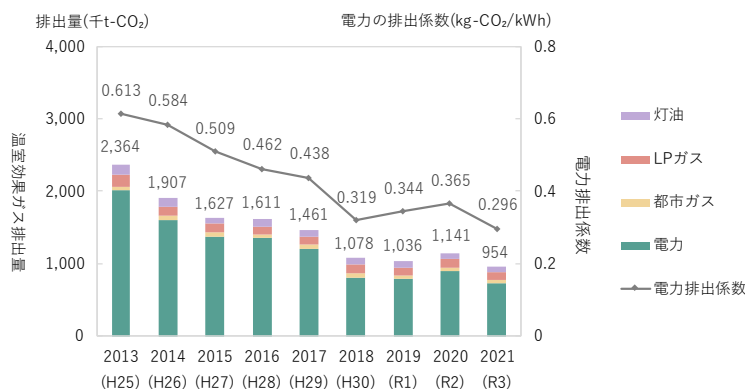
基準年度比▲43.9% 昨年度比▲13.3%

○ 業務その他部門（主に第3次産業）



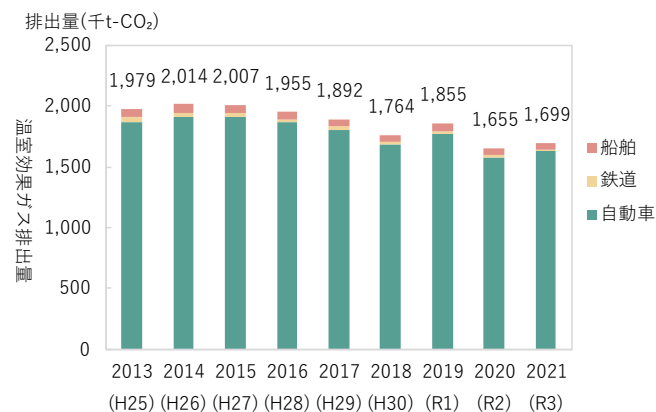
基準年度比▲49.5% 昨年度比▲8.4%

○ 家庭部門（家庭におけるエネルギー消費（車除く））



基準年度比▲59.6% 昨年度比▲16.4%

○ 運輸部門（自動車（自家用含む）・船舶・鉄道）



基準年度比▲14.1% 昨年度比+2.7%

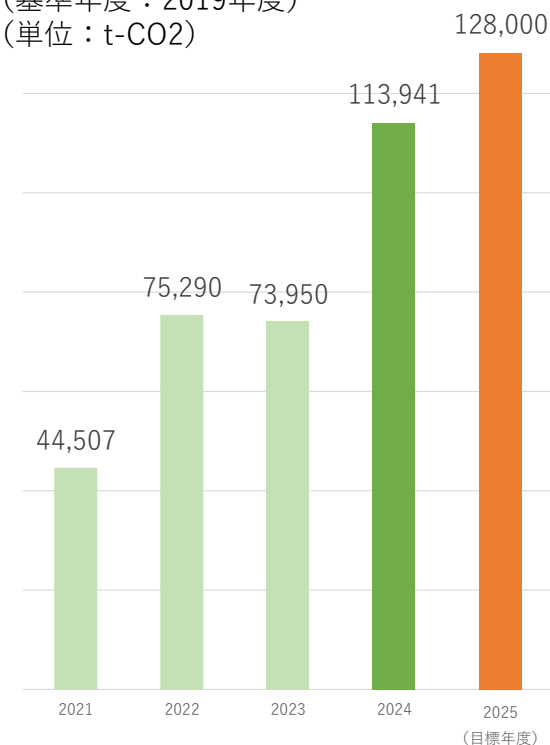
3 アクションプランの実施状況について (令和6年度(2024年度)実績)

3. 計画の進捗（アクションプランの進捗状況）

- 5つの基本方針に基づき、地球温暖化対策を推進
- 2024年度における市町村の施策による温室効果ガスの削減量は113,941トン（CO2換算）
- 昨年度比で36,601トン（CO2換算）増加となっており、2025年度の削減目標の89.0%に到達
→ 再エネ設備の普及や市町村有施設での省エネにより、削減量が増加

基本方針	事業数 (2019年度からの増減)	施策による削減量 【2019年度比】（t-CO2）		目標に対する 達成状況 【2024年度】
		2024年度実績	2025年度目標	
①再エネの利用促進	46 (+8)	48,011	43,000	111.7%
②省エネ促進	99 (+30)	26,106	21,000	124.3%
③都市機能・資源循環	199 (+18)	7,418	20,000	37.1%
④自然環境保全	65 (+6)	▲427	7,000	▲6.1%
⑤環境意識の向上	29 (±0)	32,833	37,000	88.7%
合計	438 (+62)	113,941	128,000	89.0%

市町村の施策による温室効果ガスの削減量
(基準年度：2019年度)
(単位：t-CO2)



3. 現計画の進捗（アクションプランの実施状況）

<基本方針1> 再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応

R6の主な実績

（市民・事業者の取組促進）

○再エネ設備（太陽光発電設備・蓄電池等）の導入補助

〔熊本市・菊池市・合志市・菊陽町・嘉島町・益城町・山都町〕

（公共施設の取組）

○公共施設における太陽光発電設備の拡充〔熊本市〕

○宇城クリーンセンター余熱利用設備の運用開始〔宇土市、宇城市、美里町〕

○環境省が選定する地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）の実施（R6.5に採択）

〔熊本市他11市町村〕



【高遊原配水池に設置した太陽光】

実績の分析

○再生可能エネルギー設備の導入補助、廃棄物処理施設の余熱利用による発電等により、都市圏全体で温室効果ガスの排出削減が進んでいる。

○特に公共施設への導入については、環境省の重点対策加速化事業の推進により、一層の削減効果が期待される。

R6実績		連携中枢都市圏
事業数		46事業
	前年度比	+2
	2019年度比	+8
CO ₂ 削減量	前年度比	12,945 t-CO ₂
	2019年度比	48,011 t-CO ₂

今後の方針

○導入補助や啓発事業を通じた、住民・事業者への再生可能エネルギーの普及促進

○重点対策加速化事業の着実な推進による市町村有施設への再エネ設備（太陽光発電設備・蓄電池）導入の拡充（R6～R10）

3. 現計画の進捗（アクションプランの実施状況）

<基本方針2> 省エネルギーの推進とエネルギーの効率的な利用

R6の主な実績

- 省エネ機器等（ZEH、エネファーム、エコキュート、太陽熱温水器、省エネ家電、省エネ設備（事業者向け））の導入補助 [熊本市・合志市]
- LED等防犯灯取替補助
[菊池市・宇土市・宇城市・合志市・美里町・玉東町・大津町・菊陽町・高森町・益城町]
- 公共施設等のLED化
[熊本市・菊池市・阿蘇市・合志市・美里町・菊陽町・御船町]
- 公共施設のZEH・ZEB化（検討含む） [熊本市・山都町]
- 「熊本市既存市有建築物の省エネ改修方針」に基づく改修 [熊本市]



【熊本市電のLED化】

実績の分析

- LED化等の取組により、複数の市町村において事務事業に伴う温室効果ガス排出量が、昨年度に比べ大幅に削減された。
- 省エネ機器等の導入補助は多くの補助メニューが補助枠の上限に達しており、住民・事業所における温室効果ガス排出量の削減が図れた。

R6実績		連携中枢都市圏
事業数		99事業
	前年度比	+13
	2019年度比	+30
CO ₂ 削減量	前年度比	19,635 t-CO ₂
	2019年度比	26,106 t-CO ₂

今後の方針

- 省エネ機器等導入補助の継続
- 公共施設等における省エネ設備の導入促進（LED化など）
- 公共施設のZEH・ZEB化

3. 現計画の進捗（アクションプランの実施状況）

<基本方針3> 脱炭素に向けた都市機能と資源循環社会の構築

R6の主な実績

（脱炭素型モビリティ社会の実現）

- 「バス・電車無料の日」の実施〔連携中枢都市圏〕
- シェアサイクルエリアの拡大〔熊本市・菊陽町〕
- 公用車における電気自動車等の導入・EV充電設備導入〔熊本市・山都町〕

（廃棄物の適正処理と資源循環）

- プラスチック製容器包装の分別収集〔熊本市・宇土市・美里町・嘉島町〕
- プラスチック製品の分別収集開始〔山都町〕
- 下水汚泥の活用〔熊本市・益城町〕
- フードドライブによる食品ロスの削減〔連携中枢都市圏〕



【バス・電車無料の日】

実績の分析

- 電気自動車等の普及促進等により、削減量が増加した。
- プラスチックの分別に取り組んでいる市町村では、燃やすごみに占めるプラスチック比率の改善により、削減量が増加した。引き続き分別収集に取り組んでいく必要がある。

R6実績		連携中枢都市圏
事業数		199事業
	前年度比	+1
	2019年度比	+18
CO ₂ 削減量	前年度比	1,317 t-CO ₂
	2019年度比	7,418 t-CO ₂

今後の方針

- 公共交通機関の利用促進など、運輸部門における排出量の削減に資する事業の拡充
- プラスチックの分別収集に関する周知・啓発の継続

3. 現計画の進捗（アクションプランの実施状況）

<基本方針4> 豊かな自然環境の保全と住民の生活の質の向上

R6の主な実績

（地下水保全）

- 節水市民運動の展開 [熊本市]

（森づくりの推進）

- 「水源かん養林」森林整備協定に基づく新規造林 [熊本市・西原村]
- 公有林の新植、下刈、間伐等 [大津町・菊陽町・高森町・南阿蘇村]
- 林業担い手育成 [美里町]
- 林業担い手支援事業の検討 [熊本市]
- 森林整備事業に対する補助 [美里町・山都町]



【水源かん養林】

実績の分析

- 公有林の適正な管理による森林整備面積の増加により、吸収量が増加したものの、熊本市の水使用量は昨年度に比べ増加したことによるエネルギー使用量の増加により、削減量は減少した。

R6実績		連携中枢都市圏
事業数		65事業
	前年度比	+1
	2019年度比	+6
CO ₂ 削減量	前年度比	▲3.2 t-CO ₂
	2019年度比	▲427 t-CO ₂

今後の方針

- 節水に関する普及啓発の更なる推進
- 森林整備事業の継続によるCO₂吸収量の増加

3. 現計画の進捗（アクションプランの実施状況）

<基本方針5> 環境意識の向上と環境投資の推進

R6の主な実績

- こどもを対象とした環境教育 [熊本市・宇土市・大津町・西原村・御船町]
- 「デコ活」の普及啓発 [都市圏]
- グリーン/ブルーボンドの発行 [熊本市]
- 町有林のJクレジット認証 [山都町]
- 第2次計画の策定に係るこども向けワークショップ実施の検討 [都市圏]
- 第2次計画の策定に係るこども向けワークショップの実施 [玉東町]



【小学生への環境教育】

実績の分析

- 前年度から「デコ活」の普及啓発が進んだことで、排出量が減少した。

R6実績		連携中枢都市圏
事業数		29事業
	前年度比	±0
	2019年度比	±0
CO ₂ 削減量	前年度比	6,399 t-CO ₂
	2019年度比	32,833 t-CO ₂

今後の方針

- 都市圏共同による「デコ活」の普及啓発（R7実施予定）
- 第2次計画の策定に係るこども向けワークショップの実施（R7実施予定）
- 第2次計画に関する広報活動（R8実施予定）

4 今後の取組の方向性について

4. 今後の取組の方向性について

○住民や事業者の行動変容の促進

- ・導入補助や啓発事業を通じた、再生可能エネルギーの普及促進
- ・公共交通機関の利用促進など、運輸部門における排出量の削減に資する事業の拡充
- ・プラスチックの分別収集に関する周知・啓発の継続
- ・節水に関する普及啓発の更なる推進
- ・都市圏共同による「デコ活」の普及啓発（R7実施予定）

○市町村の事務・事業における脱炭素化の推進

- ・重点対策加速化事業の着実な推進による市町村有施設への再エネ設備（太陽光発電設備・蓄電池）導入の拡充
- ・公共施設等における省エネ設備の導入促進（LED化など）、ZEH・ZEB化
- ・森林整備事業の強化によるCO2吸収量の増加



第2次実行計画に反映